

(三) 今後無産政黨合同其他黨の重要問題に關しては豫め支持労働團等に諮問せられたし、右決議は黨本部に傳達する事。

二、労働組合戦線統一問題対策決定方針

(一) 全国労働本部は労働組合協議の即時提唱をなすこと

(二) 第一回準備會を本年一月下旬に開催する

(三) 準備委員——藤岡、山口、安藤、上條、望月、菊川、今村、

(四) 労働組合法、失業反對闘争議會対策其他共通問題によつて結成すること、

三、全協に對する對策

全協系運動の擾亂行為を暴露すること、全協分子の擾亂行為に對しては断乎たる處置をなす、

四、鋸山運動再建の件

五、會計確立の件

六、國際労働代表選出対策の件

七、全國労働は棄權す、尙ほ友誼團體に對し一致行動をとる様に努力すること、

七、全國大會期日の件

六月上旬第一日曜日から三日間東京にて行ふこと、

五月八日、大阪 關西事務所に於て、

▲報告

第五回 常任執行委員會

主として關東中央委員出席、從つて非公式委員會とす。

▲議事

(一) 全國大會延期に關する件

東京地方聯合會の諒解を得て、今年秋まで延期のこと。

(二) 中央委員會開催の件

六月一日東京に開催のこと

(三) 全國労働合同記念に關する件

地方的事情を參照して六月一日を有効に記念するの指令を發すること。

(四) 住友争議対策の件

關西に於ける決定對策を報告し、各聯合會に至急應援指令を發すること。

(五) 九州炭坑争議対策の件

(六) 高橋中央委員呼戻対策の件

(七) 黨合同問題に對する件

(八) 名古屋に於ける組織運動に關する件

(九) 内務省土木従業員組合の全國的結成の件

(一〇) 染色労働に關する件

金井、望月、茅野の三委員に一任

(一一) 組合會議組織に關する件

第四回 中央委員會

六月一日 東京本部に於て

▲議事

(一) 労働組合會議に關する件

(五月七日夜日本海員組合主催の各組合代表懇談會の報告組合會議結成まで『日本労働俱樂部』として組合會議諸般の準備を進めることの中合せあり

▲議事

一、日本労働俱樂部を承認に關する件

滿場一致承認に決す

二、全國労働組合會議準備會に關する件

準備會と俱樂部と協力して第一組合會議結成に努力するを可とするも具體的對策は準備會實行委員會に於て決定すること

三、全國大會延期の件

(一) 全國大會延期に對する各聯合會の情勢を報告……關西側延期を希望

(二) 協議決定——(A) 大會延期に對しては東京地方聯合會に諒解を得る様今一應努力すること。(B) 其の上の處置は委員長事に一任善處すること。(C) 延期の諒解を得ざる際は緊急中央委員會開催、延期の際は六月一日合同創立記念には記念會合を全國的に盛大に行ふこと。

四、住友争議應援に關する件

臨時 中央委員會

五月十六日 全國労働本部に於て。

一、全國大會延期の件

延期承認、十一月一、二、三の三日間東京にて行ふ。

二、労働組合會議對策の件

1、海員組合提唱の労働俱樂部に對しては——労働組合戰線統一促進の立場より指導精神に觸れないで日常闘争の共通問題處理に當るものならば反對せず、構成は全國労働組合會議準備會の方針たる非合法と政治否定を除く團體をもつてすべき事

2、右は六月三日全國労働組合會議第二回準備會にて決定し各團體一致して進む事

三、無産政黨合同に關する件

大衆黨の合同方針を支持して進むこと

四、人事に關する件

望月中央委員並に常任執行委員辭任を承諾、後任は東京地方聯合會に一任とす

五、加盟組合承認の件

報告中名古屋方面は關西事務所に一任し、九州合同、泉州金堀下關合同、東京出版、硝子産業、大阪履物労働、南和木履上、和歌山木材、日高合同を承認す

六、争議對策の件

住友争議應援方針、高砂減音問題闘争應援方法を決定す

第五回 中央委員會

七月六、七日、東京本部にて。

▲議事

三三